

# 緑のセンターだより

NO. 166 平成 25 年 1 月 1 日発行

発行元：（財）札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

## エンジュ(槐)

マメ科 クララ属 *Sophora japonica*

## イヌエンジュ(犬槐)

マメ科 イヌエンジュ属  
*Maackia amurensis* ssp. *buergeri*

北海道でエンジュといえばイヌエンジュを指しますが、エンジュとイヌエンジュは良く似ていて混同されています。同じマメ科ですがエンジュはクララ属、イヌエンジュはイヌエンジュ属でいずれも複葉の落葉広葉樹です。

エンジュは中国原産の高木で樹高 25m、直径 1m 以上にも達するといわれています。日本には仏教伝来（538 年）のころに持ち込まれたとされ、古くから寺院境内や庭園などに植えられており、本州各地に樹齢 600 年、800 年とも伝えられる巨樹が見られるきわめて長寿な樹種です。エンジュの学名の *Sophora* は‘蝶のような’（花の形）という意味のアラビア語からきており、種小名の *japonica* は、命名者のリンネが中国原産のエンジュを日本原産と間違えたためと言われ、間違えるほど古くから多くのエンジュが日本各地に植えられていた証とも言えるでしょう。

一方、イヌエンジュは北海道から本州、四国、九州まで広く天然分布しますが、北海道が最も多く、本州西部以南は南下するほど少なくなるようです。イヌエンジュの巨木は見られず樹高 15m、直径 30cm 程度で寿命も短く 60 年、長くて 80～100 年が限度といわれます。

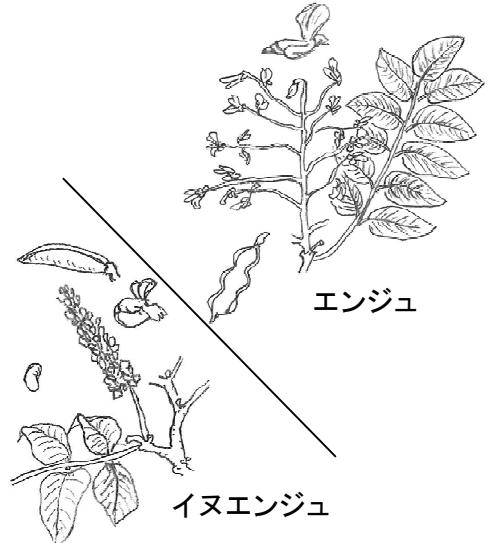
エンジュの名前は古名の「エニス」から変化したと言われていますが、もともとエニスは日本に自生するイヌエンジュのことで、一般にイヌエンジュがエンジュと呼ばれていました。イヌエンジュとの混同を避けるため、牧野富太郎氏はエンジュにシナエンジュの名をつけた他、キフジ、コエンジュ、ホンエンジュなどの呼び名があります。

中国でエンジュは高貴な木として尊重されており、周の時代（約 2000 年前）に宮廷の庭に 3 本のエンジュが植えられていて、朝廷の最高位にある太師、太傅、太保の三公（大臣）がそれに向かって座り執務したとの伝えがあり、学問と権威のシンボルとされ、大臣の位を「槐位」、朝廷を「槐庭」と称し崇められたそうです。

日本でも漢字で木偏に鬼で「槐」または「延寿」と書き縁起のよいものとされ、玄関や門、鬼門に植え邪気を祓う風習が飛騨や信州地方にあり、エンジュあるいはイヌエンジュが植えられたそうです。また「延寿」は寿命が延びるとそれのことからエンジュの床柱などが喜ばれました。

東北地方には落雷除けに「雷様の木」として屋敷に一本植える風習がありました。それは醍醐天皇が雷を嫌い、空海が加茂川東岸にエンジュを植えると（今もその木が残っているらしい）雷は皆その方に落ちたといわれたのが由縁とみられ、母屋に落ちないように植えたのではないでしょうか。

エンジュとイヌエンジュの材はよく似ており、辺材は黄白色、心材は暗褐色と色の違いは明瞭で、特にイヌエンジュの心材は日本産の木の中で最も黒っぽい樹種です。現在では、エンジュ材はこれという用途はありませんが、イヌエンジュ材は床柱や彫り物の材料の他、光沢があり丈夫で狂いが少ないためお盆や茶筒、なつめ、箸など用途は極めて広いようです。エンジュ材が市場に出まわることはほとんどなく、現在エンジュと表示されている製品はイヌエンジュ材と見てよいでしょう。（M.S）



# 1月の園芸作業

このコーナーの園芸作業は札幌地方での目安です。  
ここに掲載した以外の作業もたくさんありますので、  
ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問い合わせください。

緑の相談受付 10:00~12:00、13:00~16:00

☆豊平公園

811-9370 月曜以外毎日

(月祝日の場合は受付し、翌平日休み)

※ 平岡樹芸センター・百合が原公園は

冬期間相談受付しておりません。

## 新春特集 「春の七草」

### ◆春の七草について

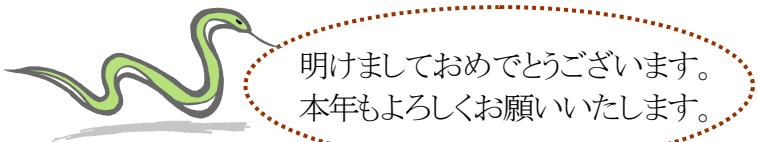
春の七草と言えば、セリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ、スズシロで、1月7日に「七草粥」を食べる風習ですね。七草は、もともと中国のこの日に7種類の野菜が入った羹（=あつもの）（あわきび）を食べる習慣からきています。当初は「草」ではなく、7種の穀物（米、麦、粟、黍、稗、胡麻、小豆）を粥にして食べたといわれていますが、鎌倉時代にいつのまにか七種の野草に変わったといわれています。

七草粥は7種類の野草・野菜を入れたお粥を食べることで、邪気を払い、万病を防ぎ、無病息災を願う意味が込められているそうです。さらに、おせち料理で疲れた胃を休ませ、野菜が少ない冬季に不足する栄養素を補うという効能も期待されています。春先のまだ寒い時期に、緑色をしているこれらの野草・野菜を食べて早く暖かい春が訪れるのを待とうという気持ちから始まったのでしょうか。

百人一首に「君がため 春の野に出で 若菜摘む わが振袖に  
雪は降りつつ」という歌がありますが、春の初め(旧暦2月頃)の新鮮野菜が不足する頃に、野の草でビタミン補給するという体調を整える習慣であったのだと思われます。

### 七草の名前の由来

七草の種類	説明(由来)
セリ(芹)	水辺の山菜で、新芽がたくさん「セリ」あって育つことから。香りが良く、食欲を増進する。
ナズナ(薺)	秋から春にかけて育ち、春には種を実らせるので「夏なら菜」で「ナズナ」になった。江戸時代にはポピュラーな食材でした。別名「ペンペソ草」
ゴギョウ(御形)	「ゴギョウ」は人形(ひとがた)のこと。人形の多くが母と子を表したものだったので、「ハハコグサ(母子草)」と呼ばれる。草餅の元祖。風邪の予防や解熱に効果あり。
ハコベラ(繁縷)	古くはハクベラといい、ハクは綿布のこと。ベラは古語で「群がる」こと。細かい茎に葉がついている様子が、綿布がもつれあい群がっているように見えることから。目に良いビタミンAが豊富で、腹痛の薬にもなった。「ハコベ」
ホトケノザ(仏の座)	地面に平らに広がって生えている葉を、仏の座に見立てた。タンポポに似ていて、食物繊維が豊富。「コオニタビラコ(小鬼田平子)」
スズナ(菘)	昔のカブは、葉を重用したので「すず葉」と言ったことから。ビタミン類が豊富。「カブ(蕓)」
スズシロ(蘿蔔)	すず白は清白。大根の古名です。七草の時に限り、スズシロと言います。消化を助け、風邪の予防にもなる。「ダイコン(大根)」



明けましておめでとうございます。  
本年もよろしくお願ひいたします。



## ◆冬の鉢花 水やり管理

鉢花の日常管理において最も大切な作業は水やりです。特に冬は鉢花は水やりによってしか水を得ることが出来ません。また、植物は根も呼吸をしていて、水やりは鉢土の中に充満した炭酸ガス(CO<sub>2</sub>)を排出し新鮮な酸素を補給するガス交換の役割も担っています。しかし、与え過ぎて常に鉢の中が水で満たされた場合、空気(酸素)の入る余地が無くなり、根は窒息状態となって根腐れを起こしてしまいます。水やりは、量やタイミングが肝心なのです。また、冬の水道水はかなり冷たいので、汲み置き水を与えるようにしましょう。

### 水やりの量・タイミング

水やりは「たっぷり」とか、「控えめに」という曖昧な基準で表現され、ついつい「たっぷり」では受け皿に水を溜めっぱなしにしたり、「控えめに」では小さなコップに1杯ずつ与えたりしてしまい大切な植物がうまく育たないことがあります。水やりは植物の種類や用土、環境、置き場所、季節によって頻度が異なるため基準を一つに設ける訳にもいきませんが、おおよその鉢植えに対しての水やりの注意点を考えてみました。

①与えるときはゆっくり、鉢底から流れ出るまで  
数回に分けてたっぷり与える。

②受け皿に出た余り水は捨て、水を残さない。

③次の水やりは、鉢土が乾いてから行う。



指で土を掘り  
乾燥を探る

この次の水やりのタイミングは鉢土の状態で判断することを奨めます。「鉢土が乾いてから」の目安として、

①鉢土が白っぽく乾いてみえた時

②指で鉢土を触って確かめる

③鉢の重さで判断する



鉢を持ち上げ  
確かめる

等がありますが、①や②は鉢土の中の方が乾いているかどうかわかりにくいこともあるので、この中では③の鉢の重さが最も簡単で確かだと思います。水やりをした後の重さを覚えておき、乾いたかな、と思ったら一鉢づつ鉢を持ち上げ確認してみましょう。また、葉が萎れてからでは「時既に遅し」、の植物もありますから注意しましょう。

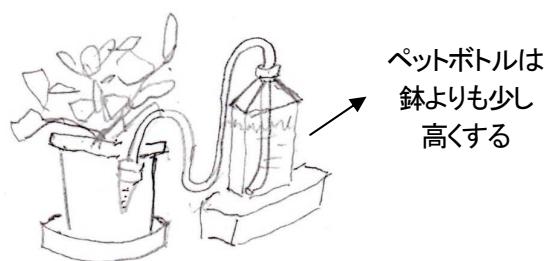
### 留守中の水やり

旅行などで何日も留守にするとき気がかりなのは鉢物の水やりです。数日であれば出かける前にバケツの水に浸けるなど、多めの水やり(溜水をしない)をしておくことや直射日光に当たらぬ、枯れない程度に涼しい場所へ移動するなどの工夫で枯らすことはないでしょう。ですが、マンションなど集中暖房で室内温度を調整しにくい場合は高い室温で乾燥が進むことも懸念されますし、また、1週間以上留守にするなどの場合は、道具を使い少しづつ水やりが出来る方が安心です。その一つに自動散水機をセットしておく方法があります。大がかりな物ではタイマーや水分センサー機能付きもありますが、簡単で安価な(ペットボトル応用型)ものもあります。

どのような方法が良いかを考えるためにも、植物や用土の種類、留守中の置き場所の環境によつても鉢土の乾く速さは違つてきますので、日ごろから土の乾く速さを確認しておくとよいでしょう。

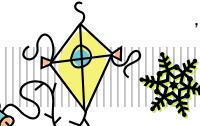


市販の「キャップ」方式



市販のストロー方式

※これらの簡便な自動散水(給水)機はホームセンターなどで市販されています。



# 1月～2月の催しのお知らせ

豊平公園 緑のセンター 豊平区豊平5条13丁目 TEL 011-811-6568 <http://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/>

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
園芸教室・自然教室				
シンビジュウムの育て方	2月10日(日)	13:30～	1/11(金)～	無料

百合が原公園 緑のセンター 北区百合が原公園210 TEL 011-772-3511 <http://www.sapporo-park.or.jp/yuri/>

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
講習会・クラフト講習・実践講座！				
洋ランの育て方	1月26日(土)	13:00～	1/11(金)～	130円
バレンタインクラフト	2月2日(土)	13:30～	〃	1,000円
展示会				
みかんなどの柑橘展	1月8日(火)～2月11日(月祝)			温室入館料130円
市民ラン展	1月22日(火)～1月27日(日)	オーキッド・ユウ・アーク		〃
市民ラン展一般参加展示鉢募集 ※ 25年1/4(金)～1/20(日)の期間、電話にてお申し込み受付。参加費無料。				
※ 詳細は百合が原公園までお問い合わせください。				

## その他の公園

イベント 内容	日時	備考	問い合わせ・申込み先	
季節展示 サケ稚魚の群泳	1月10日(木)～5月5日(日)	直接会場へ 体験により有料	さけ科学館	582-7555
サケトランクキット展	2月1日(金)～15日(金)			
小さな雪まつりがやってきた	2月5日(火)～11日(月祝)			
川下公園スノーフェスティバル	1月11日(金)～14日(月祝) 10:00～15:00	直接会場へ 体験により有料	川下公園	879-5311
冬のにぎわいフェスタ	1月12日(土) 13:00～	直接会場へ:100円	平岡公園	881-7924
佐々木秀明 Droplets Garden	1月12日(土)～2月17日(日)	直接会場へ:300円	モエレ沼公園	790-1231
プレーパークとスノーキャンドル	1月18日 10:00～, 19日 13:00～	直接会場へ	円山公園	621-0453
のうし冬まつり	1月19日(土) 10:00～15:00	直接会場へ	農試公園	615-3680
早朝の氷瀑を見に行こう	1月20日(日), 23日(水), 27日(日) 7:00～9:00 ※早朝開園	直接会場へ 別途駐車料金	滝野すずらん 丘陵公園	592-3333
西岡公園 自然調査報告展 ～子供たちの調査隊ヤンマ団 &魚組活動の記録～」	2月3日(日)～3月3日(日)	会場: 円山動物園 直接会場へ: 入園料	円山動物園 西岡公園	621-1426 582-0050
さっぽろ雪まつり	2月5日(火)～11日(月祝)	会場: 大通公園	さっぽろ雪まつり実行委員会	211-3341
ゆきあかり in 中島公園 2013	2月8日(金)～10日(日) 16:30～	直接会場へ	中島公園	511-3924

## 「冬のまちにスノーキャンドルの灯りをともそう！2013」

「冬の公園をもっと活用しよう！」、「冬の災害について考えよう！」、「地域のコミュニケーションをはかろう！」というコンセプトで、2003年から開催されている、北のまち札幌ならではの素敵なお祭りです。今年も参加します。16時30分頃に一斉点灯しますので、お近くにお住まいの方は是非遊びに来てください！



また、当日のスノーキャンドル作成にボランティア参加を受付している会場もあります。

「作ってみたい！」という方はお近くの会場へ行ってみてはいかがでしょう？会場により開催日時が異なります。また、持っていくものがある場合や有料イベントの場合もありますので、ご確認ください。

詳細は下記の冬のまちスノーキャンドル実行委員会のサイト、または各参加会場にお問い合わせください。

暖かい格好をして参加してくださいね♪

### 1月12日(土)他開催！

川下公園、西岡公園  
平岡公園などが参加！  
※開催日程・イベント等は  
会場により異なります。  
各会場にお問い合わせください。

### 1月19日(土)開催！16:30頃一斉点灯

厚別公園、円山公園、モエレ沼公園、創成川公園、中島公園  
前田森林公园、百合が原公園、豊平公園、平岡樹芸センター  
農試公園など多数参加!  
※点灯時間、作成ボランティア、イベント等の詳細は  
各会場にお問い合わせください。